

～明けましておめでとうございます～

已年は、これまで努力してきたことが実を結びはじめる年、また、蛇は脱皮をすることから、新たな挑戦や変化に前向きになる年といわれています。

東一貫校では、今年も児童生徒が勉強や運動で成長できる一年になるよう頑張りますので、保護者の皆様にもこれまでと同様、ご理解とご協力をお願ひいたします。



～人権集中学習～

昨年12月3日～13日、後期人権集中学習を実施しました。今回のテーマは「着眼大局・着手小局～人権問題を知る、考える、変えていく～」で、日本や世界の人権課題について知り、考え、変えていくという取組でした。

◇オープニング集会

最初に、担当であるJRCユネスコ委員会より、上記人権テーマと活動内容が発表されました。続けて校長講話が行われました。



全校で、群馬県が掲げている13の人権課題について概要を知り、その後の活動に生かします。

13の人権課題

- 女性、子どもたち、同和問題、高齢者、犯罪被害者等、障がいのある人たち
- 外国籍の人たち、HIV感染者等の人たち、ハンセン病元患者の人たち
- インターネットによる人権侵害、性的少数者の人たち、刑を終えて出所した人たち
- 北朝鮮による拉致被害者

◇知る活動

オープニング集会での学びを踏まえ、「がっちゅうトーキングタイム」を実施しました。業前の時間、小グループごとに人権課題のテーマ（女性の人権、子供たちの人権）を絞り意見交換をしました。



◇考える活動

小グループごとに、13の人権課題から一つ選び、人権新聞を作成しました。

まとめた新聞については、1～3年の縦割り班ごとに発表を行いました。

◇変えていく活動

12月3日～6日、学校運営協議会主催の地域とふれあうあいさつ運動で、部活動ごとに集まってあいさつ運動をし、活気のある一日のスタートを切ることができました。

また、人権ソング「ツバメ」を毎朝流したり、赤い羽根募金を行ったりすることで、一人一人が今できることや人権学習について意識を高めました。

◇エンディング集会

全校生徒が体育館に集まりエンディング集会が行われました。JRCユネスコ委員を中心に後期人権集中学習を振り返り、取組の成果を発表しました。その後、生徒は教室へ戻り、各自振り返りを行いました。

後期人権集中学習を通して、生徒は、今まで知らなかった様々な人権課題について学ぶことができ、学校全体の人権意識や感覚が高まった2週間となりました。今後も今回の学習を生かして、より一層すばらしい学校、そして社会をつくりていきたいと思います。

以下、人権新聞をまとめた生徒の感想の一部を掲載します。

<女性の人権>

調べてみて、自分が知っていることよりたくさんの人権侵害があった。昔から、国会の女性議員の少なさだったり、会社で管理職の立場にいる女性の割合が低いことが問題になっていたけど、それによって男女間の賃金格差などが起きているのは知らなかった。今後、この新聞で調べたことを生かして、女性の人権侵害や、差別をなくすための方法を考えていこうと思う。

<外国籍の人の人権>

日本にもたくさんの在留外国人がいて、多くの日本人が、外国人であるということを理由に人種差別をしていることが分かった。私たちが無意識にしていることが相手を傷つけているかもしれない、国籍関係なく優しく善意をもって生活したいと思った。

<子供の人権>

最近は、身体的虐待、性的虐待、ネグレクト、心理的虐待が年々増加していた。その子供は、とても辛く、苦しい記憶を抱えながら、この先の長い人生を歩まなければならない。このようなことは社会全体で協力し、子供一人一人を守っていくことが大切だと思った。

<高齢者の人権>

高齢者の人権問題について調べてみて、理不尽に暴力や暴言などのひどい扱いを受けている人がいることを知りました。高齢者の方々は、認知症の影響などでできないこともたくさんあるけれど、認め合ったり、助け合ったりすることが大切だと思いました。



～書き初め大会～

1月7日(火)、全校生徒が各クラスで書き初めをしました。どのクラスを訪問しても、終始無言で真剣に取り組む生徒の姿がありました。すごい集中力で、新年への思いをしたためていると感じました。

*代表作品は、1月25日(土)、26日(日)の両日、藤岡市民ホールに展示されます。

